



| | 特徴 | メリット |
|------------------|---|--|
| インプット | 航空写真(直下型、斜め型)および陸上写真 | 有人・無人を問わず、あらゆるアングルから撮影した画像を処理。 |
| | あらゆるカメラ(コンパクト、一眼レフ、マルチスペクトル、GoPro)を .jpg または .tiff で提供) | 小型から大型フレーム、一般用から特殊カメラまで、あらゆるカメラで撮影した画像を使用可能。 |
| | 同じプロジェクトで複数のカメラをサポート | 異なるカメラの画像を用いてプロジェクトを作成し、それらをまとめて処理することが可能。 |
| 特徴 | タイムライン | 同じプロジェクトに属するすべてのデータセットの表示と保存。 |
| | オーバーレイツール | 設計図とオルソモザイクを重ね合わせ、施工時と設計時の比較により、エラーを発見や進捗を確認することが可能。 |
| | 2D/3D比較ツール | 2Dおよび3D表示で、分割またはダブルスクリーンで異なる日を並べて比較する |
| | 自動GCP | 地上基準点(GCP) ターゲットの自動マーキングにより、プロジェクトの絶対精度を向上。 |
| | テンプレート選択 | 必要なアウトプットに応じて異なる処理テンプレートを使用し、処理とアウトプットを最適化。 |
| | 出力座標系選択 | 最適なワークフローを保証するために、選択した座標系でプロジェクトを処理。 |
| | 距離と面積の測定 | 正確なプランニングのために距離や面積を測定。アノテーションとして測定値を保存することもできる。 |
| | 体積測定 | より正確な敷地調査のための、DSMに基づいた体積測定。 |
| | 体積比較 | DSMに基づく体積の経時変化の比較 |
| | 標高プロファイル | DSMに基づいて標高プロファイルを生成。各ポイントの標高情報が表示される。 |
| | アノテーション | さまざまなタイプのアノテーション(マーカー、点検、線、範囲、円、多角形)を追加することで、より価値の高い実用的な情報を共有。アノテーションは、.csv、.GeoJSON、Shapefiles などのさまざまなファイル形式でエクスポート可能。 |
| | バーチャルインスペクター | 3Dモデルやその作成に使用された画像上でのバーチャル検査。特定の画像をズームインし、ピン留めして、詳細情報やアクションを画像にコメントすることも可能。検査結果はアノテーションとして保存。 |
| | マルチスペクトル処理とNDVI表示 | マルチスペクトルデータセットをより高度に分析するためのNDVI マップを自動生成。デフォルトでインデックスの柱状グラフを表示。 |
| | 共有 | 注釈、測定値、標高プロファイル、ボリューム、プロジェクトをチームや関係者と共有することで、コラボレーションやレポートを向上。 |
| | 既存の結果をインポート | オルソモザイクとDSMは .geotiff、点群データは .las と .laz、3Dメッシュは .objファイル形式でインポート可能。 |
| BIMモデルをインポート | IFCファイル形式のインポートと3Dでのビジュアライゼーション | |
| 注釈レポート | 全てのアノテーション(測定値、ポイント、ボリューム、検査)を含むPDFレポートを作成し、簡単に共有および文書が可能。レポートの言語は、ソフトウェアで使用されている言語のどれかが使用される | |
| 出力 | 2D出力結果 | GeoTiff 出力形式での直下型オルソモザイク。 .geojson、.csv、.shp 出力形式での 2D ベクトル。 |
| | 2.5D出力結果 | GeoTiff 出力形式での DSM または DEM。 |
| | 3D出力結果 | .las出力形式での3D点群。 .fbxおよび.obj出力形式での3Dテクスチャメッシュ。 |
| | PDF出力結果: | .pdf形式のGCPLレポート |
| | | .pdf形式の品質レポート |
| | | PDF形式のアノテーションレポート |
| サードパーティインテグレーション | Trimble Connect | Trimble Connectプラットフォームに選択したファイルをエクスポート |
| サポート | 個人メール | ライセンス所有者は、メールでサポートに連絡することが可能。 |
| | コミュニティ | 誰でも書き込み可能なコミュニティ。 |
| マルチリンガル | 対応言語写真 | 英語、スペイン語、イタリア語、日本語、韓国語、フランス語、ポルトガル語(ブラジル)、タイ語、ドイツ語 |